

水産物の市況について(令和元年6月及び令和元年7月)

—東京都中央卸売市場における令和元年6月(令和元年5月21日～令和元年6月20日集計)の市況と、
令和元年7月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、鮮魚を主体にやや増加したものの、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、輸入水産物の価格が総じて高いこと等から、横ばいに推移しました。

II 令和元年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれるものの潤沢な入荷が続いていることから、卸売価格は、やや弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、高値・横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮物の入荷量は、各地で水揚げが本格化することからかなり増加すると見込まれ、卸売価格は、弱含むと見込まれます。冷凍物の入荷量は、生鮮物の入荷が増加することによりやや減少すると見込まれるものの、小さいサイズが主体なので、冷凍物の卸売価格への影響は少なく、横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、水揚げ低調なことからやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

まぐろ全体では、入荷量は横ばいと見込まれ、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、三陸の水揚げが本格化することからかなり増加すると見込まれ、卸売価格は、かなり弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含む
11～20	増加(減少)	強(弱)含む
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含む
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	33	1,073	30	1,075	36	1,088
前年	30	1,099	34	1,030	38	1,045

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	377	106	113	104
さけ・ます(平均)	1,077	99	106	118
(ぎんざけ塩蔵品)	1,047	98	105	115
(あきさけ塩蔵品)	770	100	106	124
(ときさけ塩蔵品)	1,109	99	97	102
(べにざけ塩蔵品)	1,372	99	99	127
(さけ類冷凍品)	1,055	101	109	120
さば(生鮮品)	360	99	103	104
するめいか(平均)	692	79	98	124
(生鮮品)	648	76	96	118
(冷凍品)	917	100	112	159
あじ(生鮮品)	577	106	104	108
まぐろ(冷凍品)	1,562	103	98	106
(めばち冷凍品)	1,002	87	88	94
(きはだ冷凍品)	854	99	84	83
(くろまぐろ冷凍品)	3,307	100	132	120
(みなみまぐろ冷凍品)	1,715	87	80	80
かつお(生鮮品)	701	142	119	127

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:6月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年～30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612